

富士山火山防災対策協議会

平成24年度事業報告

平成25年5月9日

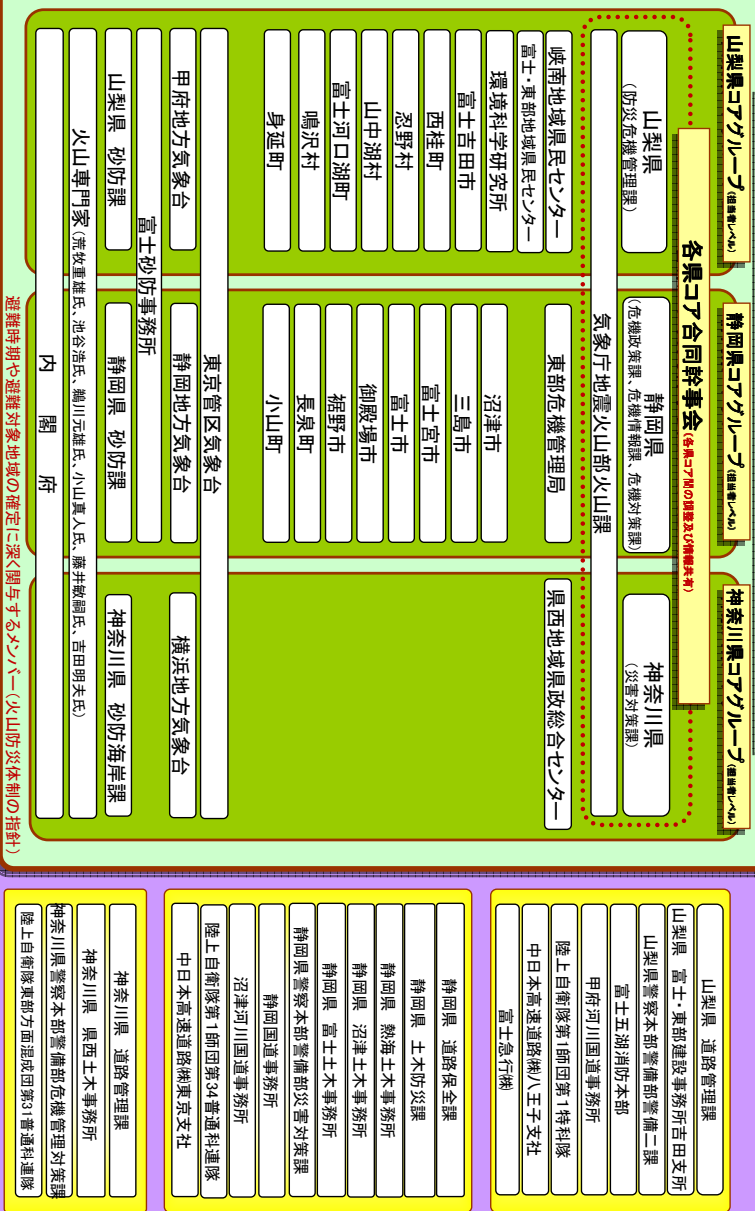
富士山火山防災対策協議会の設置

富士山火山防災対策協議会（部長レベル）

平成24年6月8日現在

富士山火山防災対策協議会・三県コアグループ

(担当者レベル)



(避難時期や避難対象地域の決定に深く関与するメンバー(火山防災体制の指針))

噴火時等の避難等の火山防災対策を共同で検討する体制(防災基本計画)

協議会の事業計画

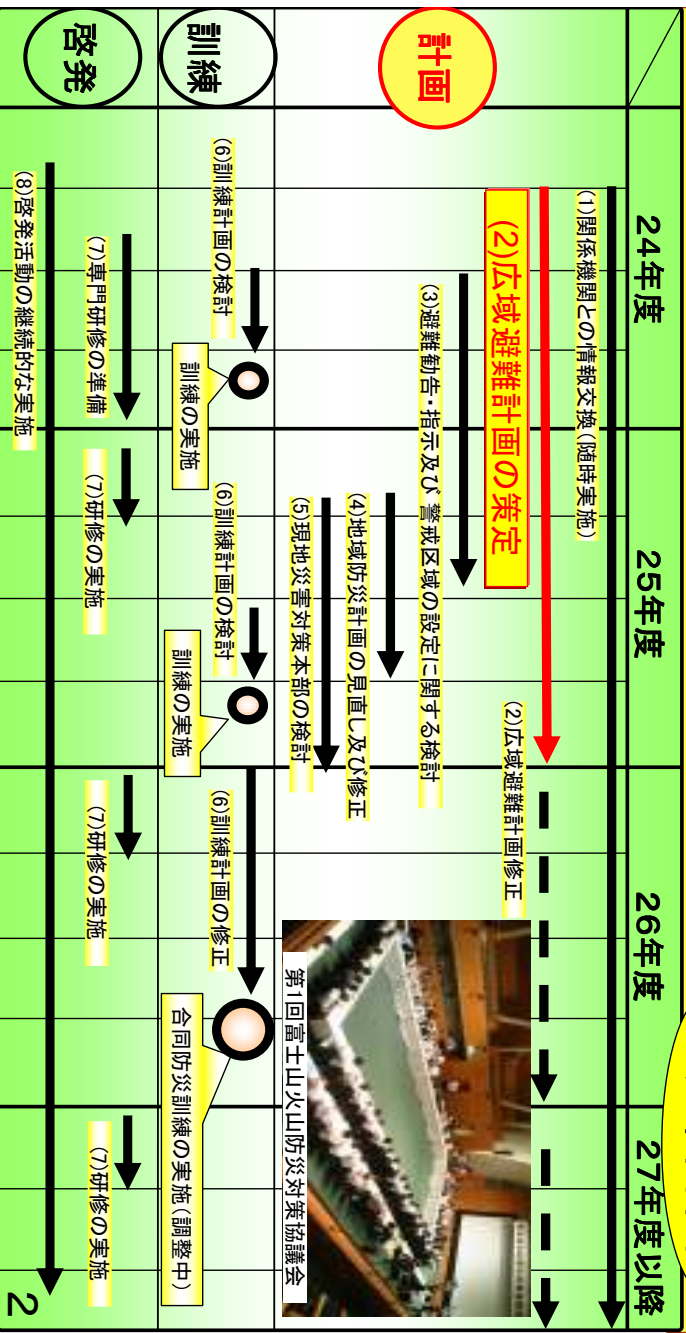
計画に関すること

- (1)防災対策等の情報交換に関すること
- (2)広域避難計画の策定に関すること
- (3)避難勧告・指示、警戒区域の設定等に関する検討及び関係市町村への助言
- (4)三県及び関係市町村の地域防災計画の見直し及び修正に関すること
- (5)大規模災害時の非常現地災害対策本部の検討に関すること

訓練に関すること

- (6)防災訓練等の活動等に関すること
- ・**啓発に関すること**
- (7)火山災害に関する専門的な研修の実施に関すること
- (8)防災意識の啓発活動に関すること
- ・その他

37年計画



富士山火山防災対策協議会 広域避難計画の検討経過等 (平成24年度)

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	三県コアグループ会議 各県コア合同幹事会	静岡県で開催								
	山梨県コアグループ会議									
	静岡県コアグループ会議 神奈川県コアグループ会議									
協議会での共同検討の成果	富士山火山防災対策協議会の設置	データ等の収集		現地災害対策本部候補地	避難範囲基本モデル原案	避難範囲基本モデルの完成	ゾーン・ラックによる避難方式	ゾーン・ラックによる避難方式		下物避難の決定(融雪型火山泥流除)
避難対応の検討	避難範囲の考え方の検討			大きな噴石						
	「空からの脅威」の検討									
訓練	「流下する脅威」の検討									
	訓練実施計画の策定・訓練の実施									

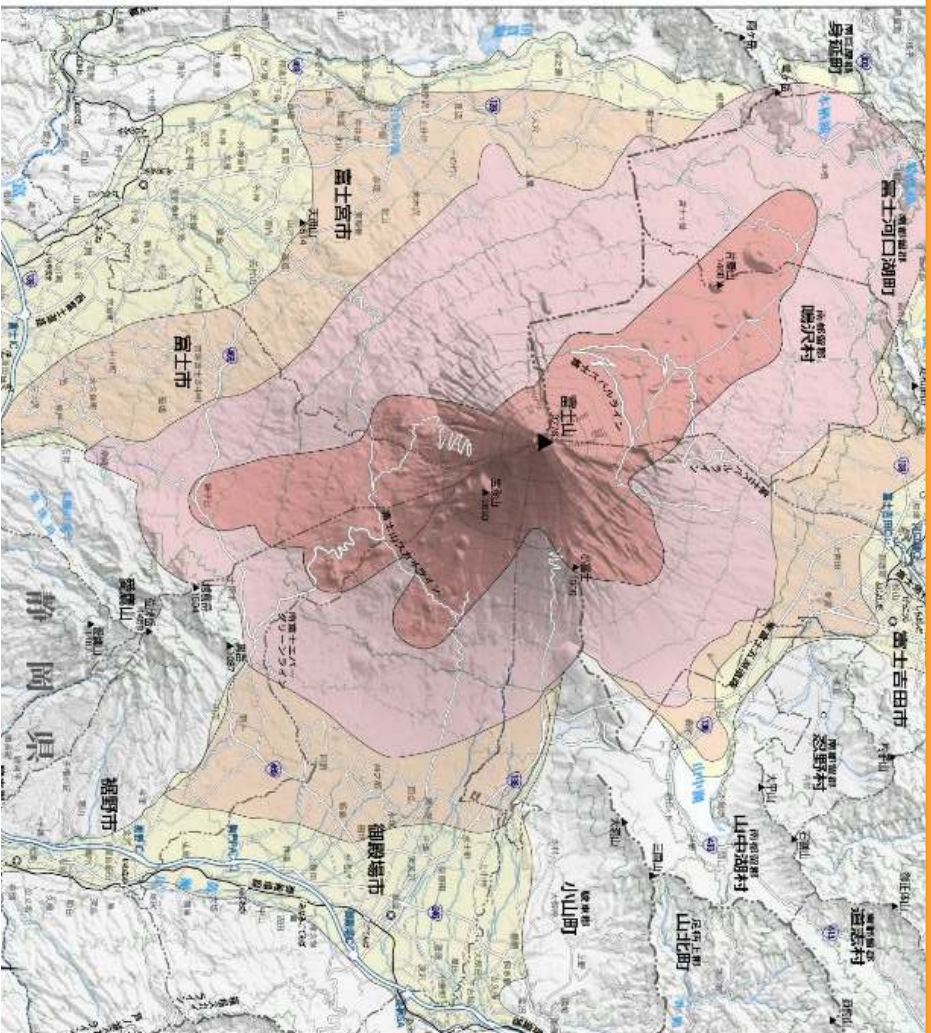
ステップ1	ステップ2	ステップ3
避難対象の 区域の検討	避難施設等の 検討	避難誘導 方法の検討
1.危険区域の 設定	1.避難所の 選定	1.交通規制 箇所の決定
2.避難単位の 設定	2.避難所収容 人数の算出	2.避難誘導 方法の決定
3.避難者数の 算出	3.避難経路の 選定	3.誘導体制の 確立

4

富士山モデルの構築

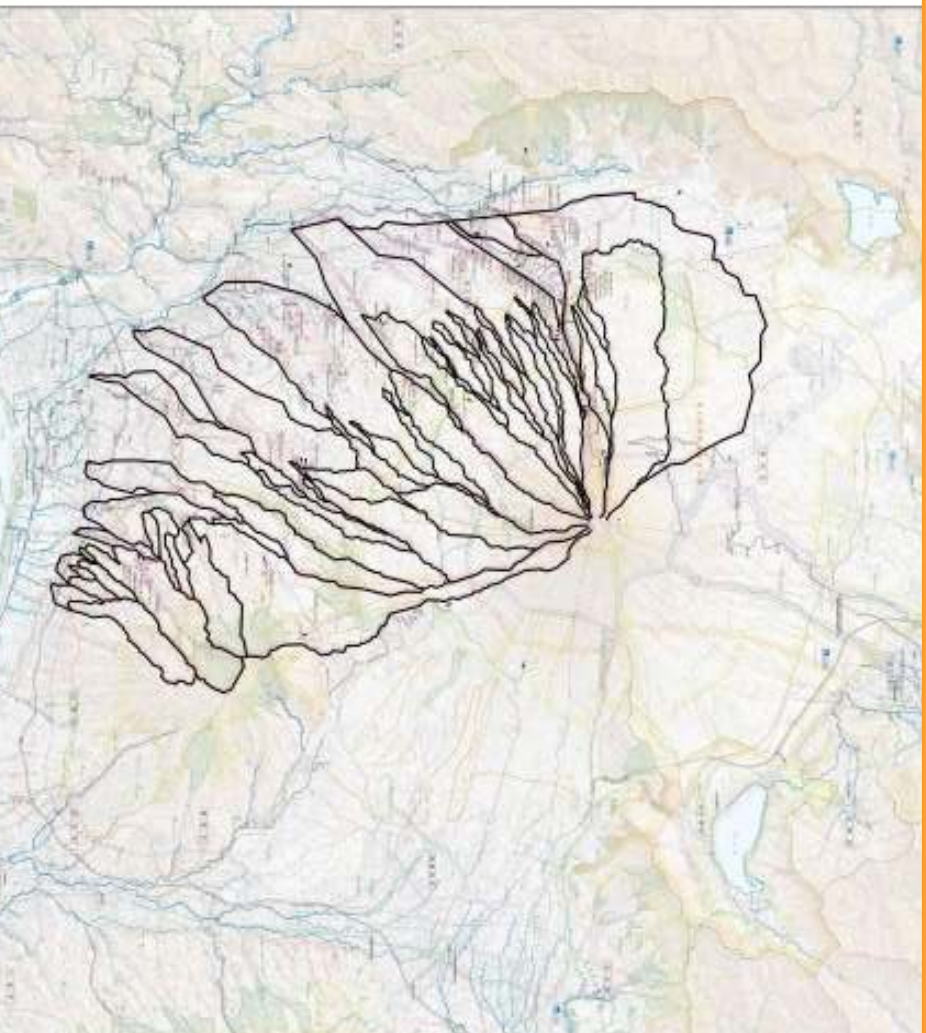
～ゾーンとライン・ブロックを組み合わせた
弾力的で段階的な避難計画～

富士山火山ハザードマップ



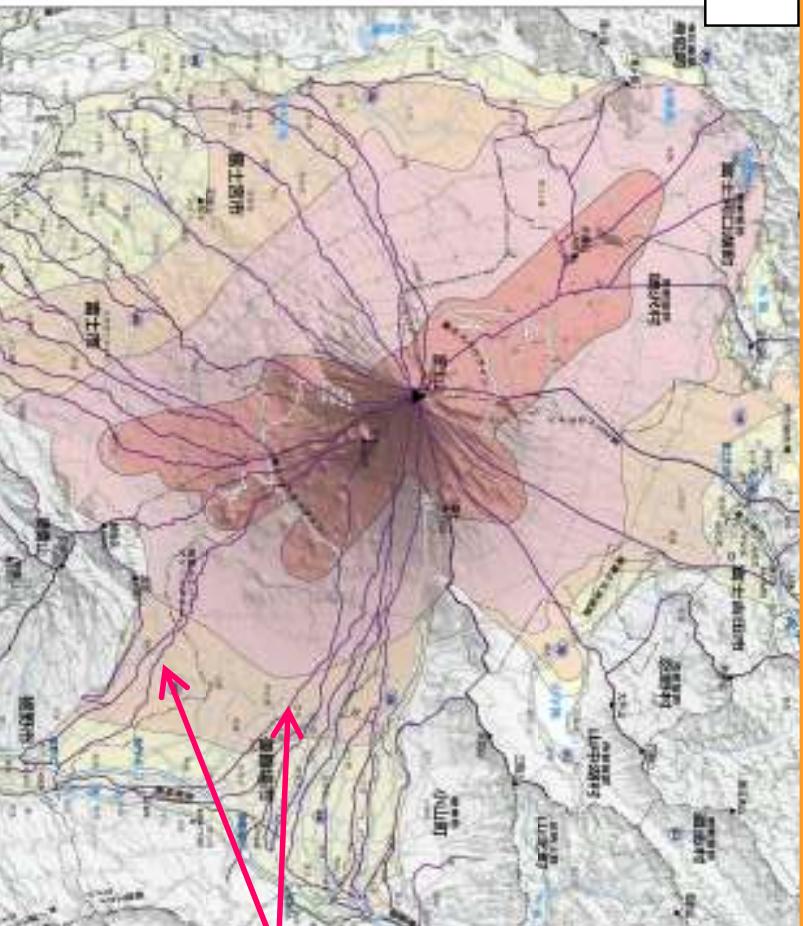
6

流域界図(富士砂防事務所管内図)



7

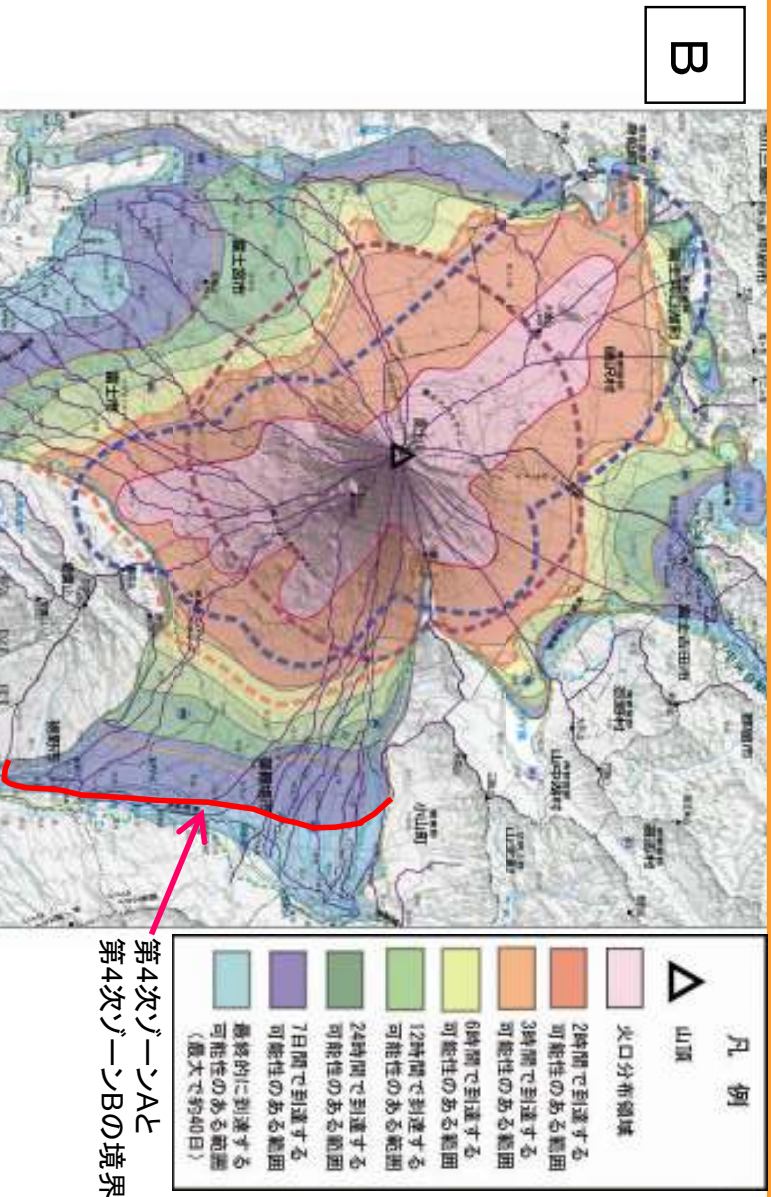
富士山麓全域の流域界図



流域界
降水(雨水、融雪水など)
が集まって流れる領域の
大きな範囲

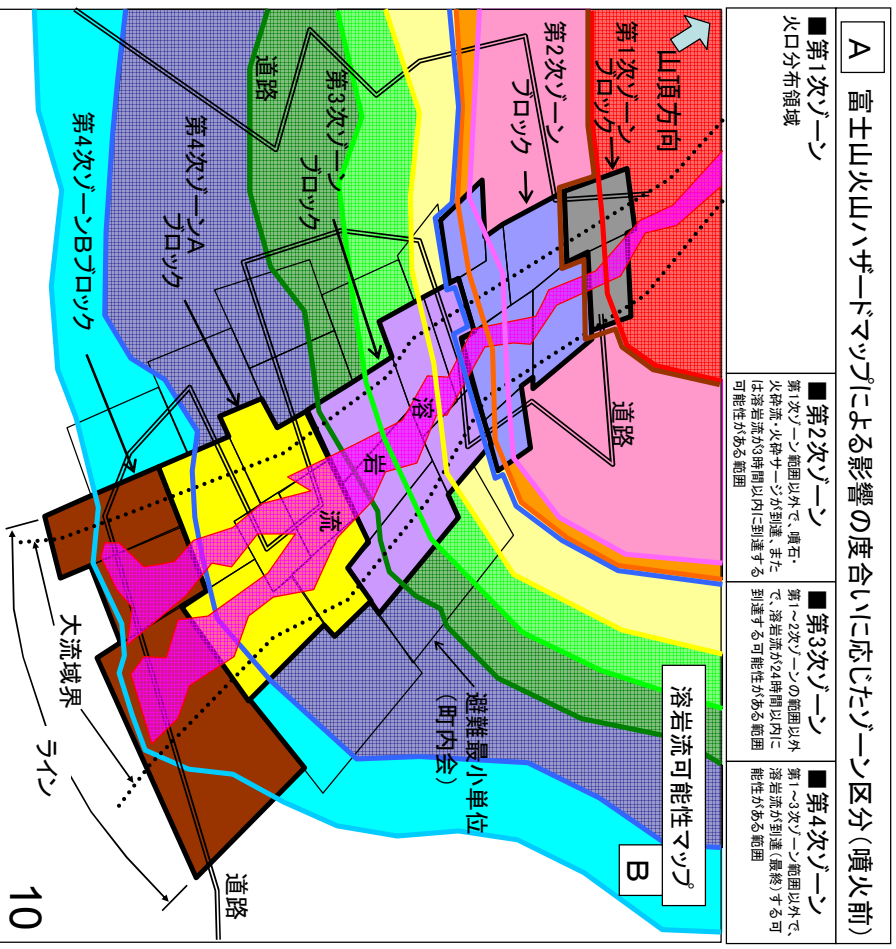
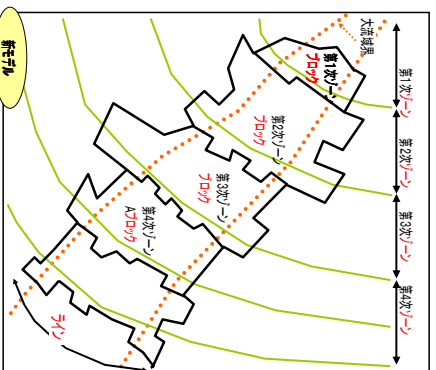
富士山火山ハザードマップ：溶岩流、噴石、火砕流、融雪型火山泥流についての影響予測範囲を重ねて表示したもの

溶岩流可能性マップ+流域界

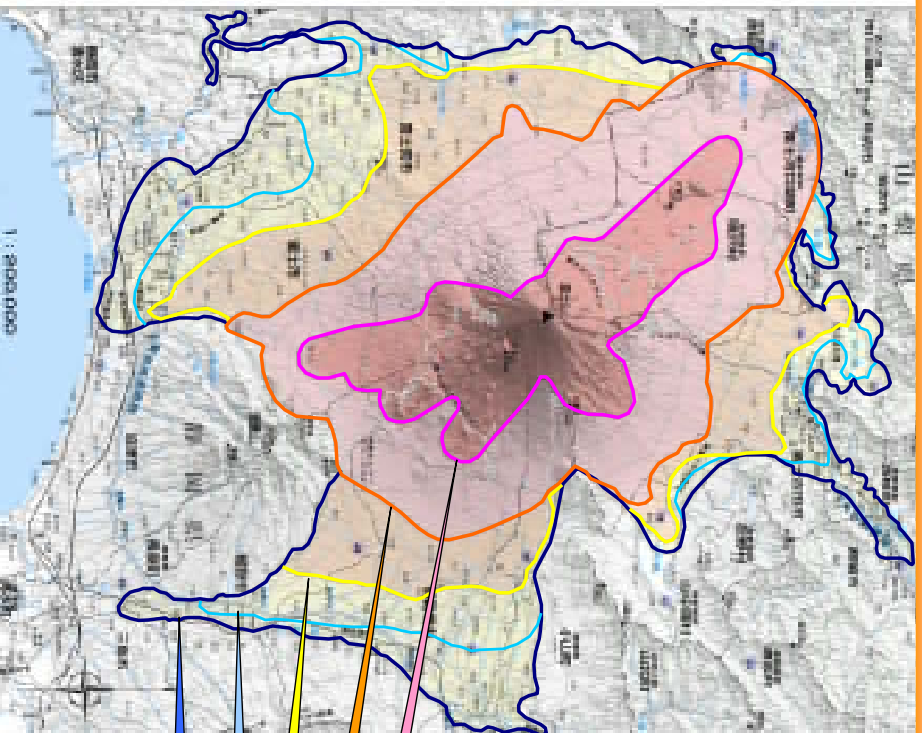


溶岩流可能性マップ：溶岩流が到達する可能性のある範囲について、最も早く到達する時間で合成したもの。
大流域界：降水(雨水、融雪水など)が集まって流れる領域の大きな範囲。

ゾーン・ライン・ブロックのモデル



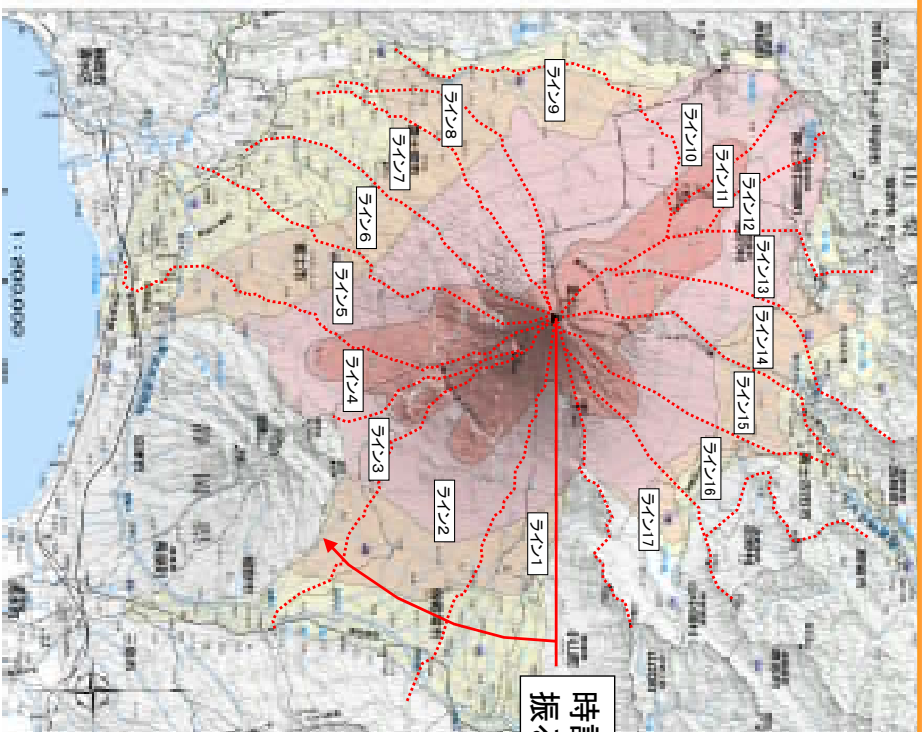
ゾーン(第1～第4B)



山頂から山麓
に向かって、
第1次ゾーン～
第4次ゾーンB

- 第1次ゾーン
- 第2次ゾーン
- 第3次ゾーン
- 第4次ゾーンA
- 第4次ゾーンB

ライン(ライン1~17)

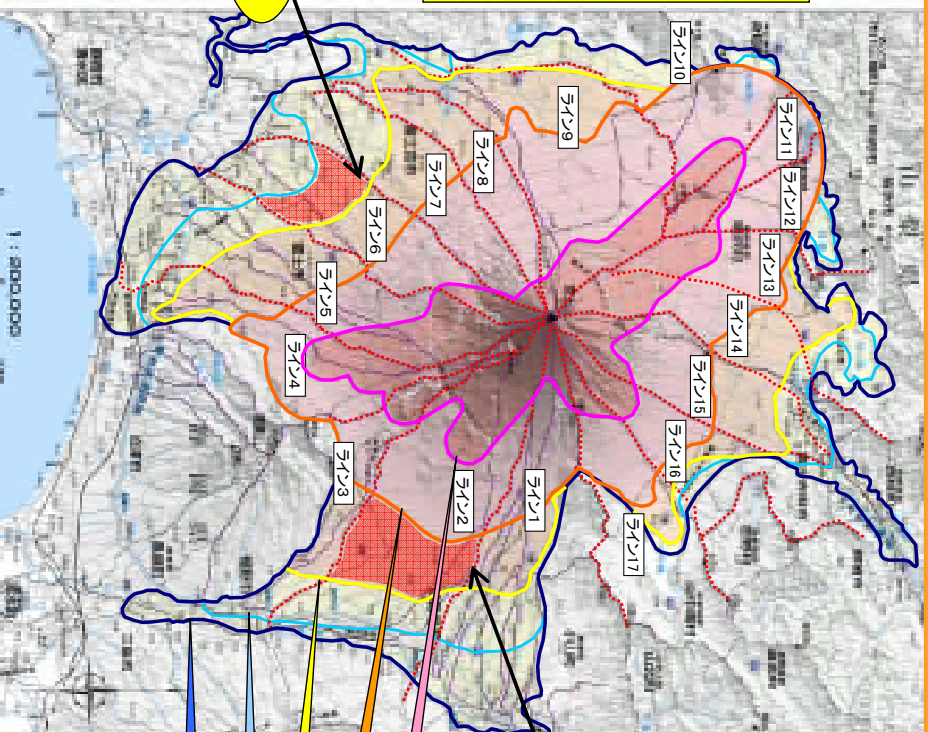


ライン1~
ライン17

時計回りにライン番号を
振る

ゾロツク(ライン×ゾーン)

17ライン
×
5ゾーン
↓
85ゾロツク



ライン2の上から
3番目のゾーン
のゾロツクを示し
ている。

2-3ゾロツク

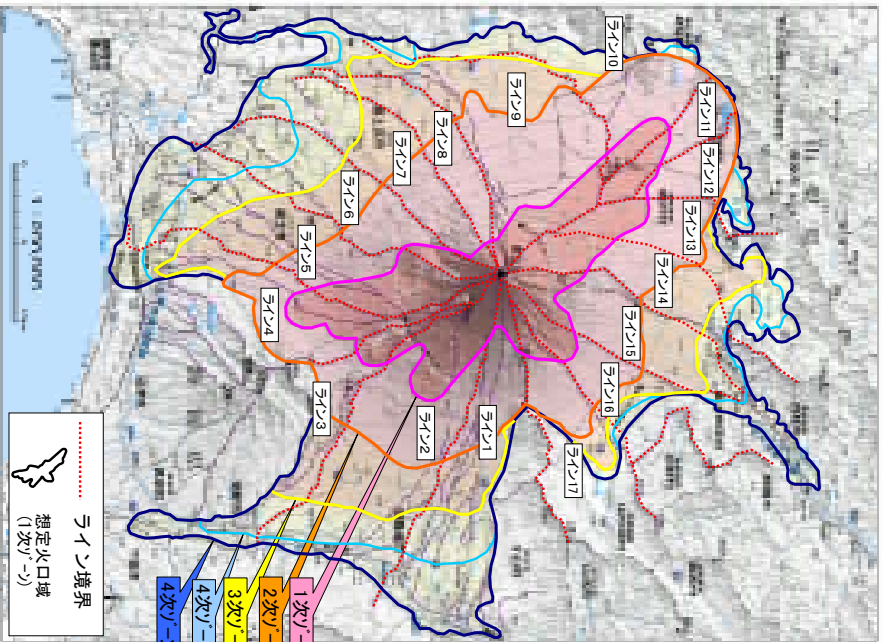
- 第1次ゾーン
- 第2次ゾーン
- 第3次ゾーン
- 第4次ゾーンA
- 第4次ゾーンB

6-4ゾロツク

ライン・ブロック別避難対象者数

資料2-1参照

ゾーン (1~4B) とライン (1~17)



地域	避難方式	ゾーン別避難				避難対象者 合計
		ライン3	ライン4	ライン5	ライン6	
東麓	ライン1 市街地	106,893人	22,485人	28,247人	59,118人	22,608人
	ライン2 市街地	66,463人	24,771人	28,177人	59,989人	22,608人
	ライン3 市街地	206,392人	18,302人	43,804人	69,480人	22,608人
	小計	379,748人	64,558人	100,228人	188,687人	22,608人
	ライン4 市街地	280,993人	17,971人	6,699人	44,176人	19,855人
	ライン5 市街地	206,592人	21,789人	6,699人	19,188人	19,855人
	ライン6 市街地	206,293人	3,810人	26,981人	78,471人	19,855人
	ライン7 市街地	158,693人	6,597人	39,690人	22,999人	69,997人
	ライン8 市街地	135,693人	1,471人	31,691人	3,682人	44,322人
	ライン9 市街地	162,090人	3,382人	16,612人	3,697人	26,489人
ライン10 市街地	175,772人	1,082人	3,391人	3,391人	4,489人	
小計	1,572,722人	48人	7,817人	177,849人	190,951人	386,128人
ライン11 市街地	68,811人	7,817人	999人	2,618人	999人	69,810人
ライン12 市街地	29,595人	2,410人	209人	2,819人	2,819人	32,613人
ライン13 市街地	81,283人	3,204人	10,448人	15,039人	28,690人	66,264人
ライン14 市街地	82,941人	11,419人	24,041人	10,331人	46,191人	89,132人
ライン15 市街地	206,398人	20,299人	24,991人	10,331人	55,921人	262,319人
ライン16 市街地	79,423人	10,114人	14,097人	11,000人	35,211人	114,604人
ライン17 市街地	6,394人	775人	1,120人	694人	3,344人	3,344人
小計	6,394人	94人	7,989人	15,039人	32,692人	189,286人
合計	114,411,16,160人	144,114,16,160人	130,989人	318,180人	228,522人	748,265人

* 全てのラインへの噴火対象者は同時に発生するものではない。
各ラインの別の避難者の合計については、ラインで重複しているため、避難者数の総計ではない。

噴火警戒レベルに応じた避難(一般住民)

一般住民の場合 噴火警戒レベルと避難行動

避難 順序	レベル3			レベル4			レベル5			レベル5 拡大①			レベル5 拡大②			レベル5 拡大③		
	観光客等 土活動自 粛) (避難準備)	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	
①	観光客等 土活動自 粛) (避難準備)	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	
②	—	避難準備	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	
③	—	—	—	避難準備	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	
④	—	—	—	—	避難準備	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	
⑤	—	—	—	—	—	避難準備	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	避難	

溶岩流が到達する
可能性のある範囲
(溶岩流可能性マッ
クの説明)

火口分布領域

溶岩流2時間
到達範囲

溶岩流3時間
到達範囲

溶岩流6時間
到達範囲

溶岩流12時間
到達範囲

溶岩流24時間
到達範囲

溶岩流7日間
到達範囲


溶岩流最終
到達範囲
21

平成24年度 山梨県災害対策本部

総合図上訓練(富士山火山)

1. 日時 平成25年1月21日(月)(10:00～16:00)
 第1フェーズ(10:00～12:00)
 第2フェーズ(13:00～16:00)

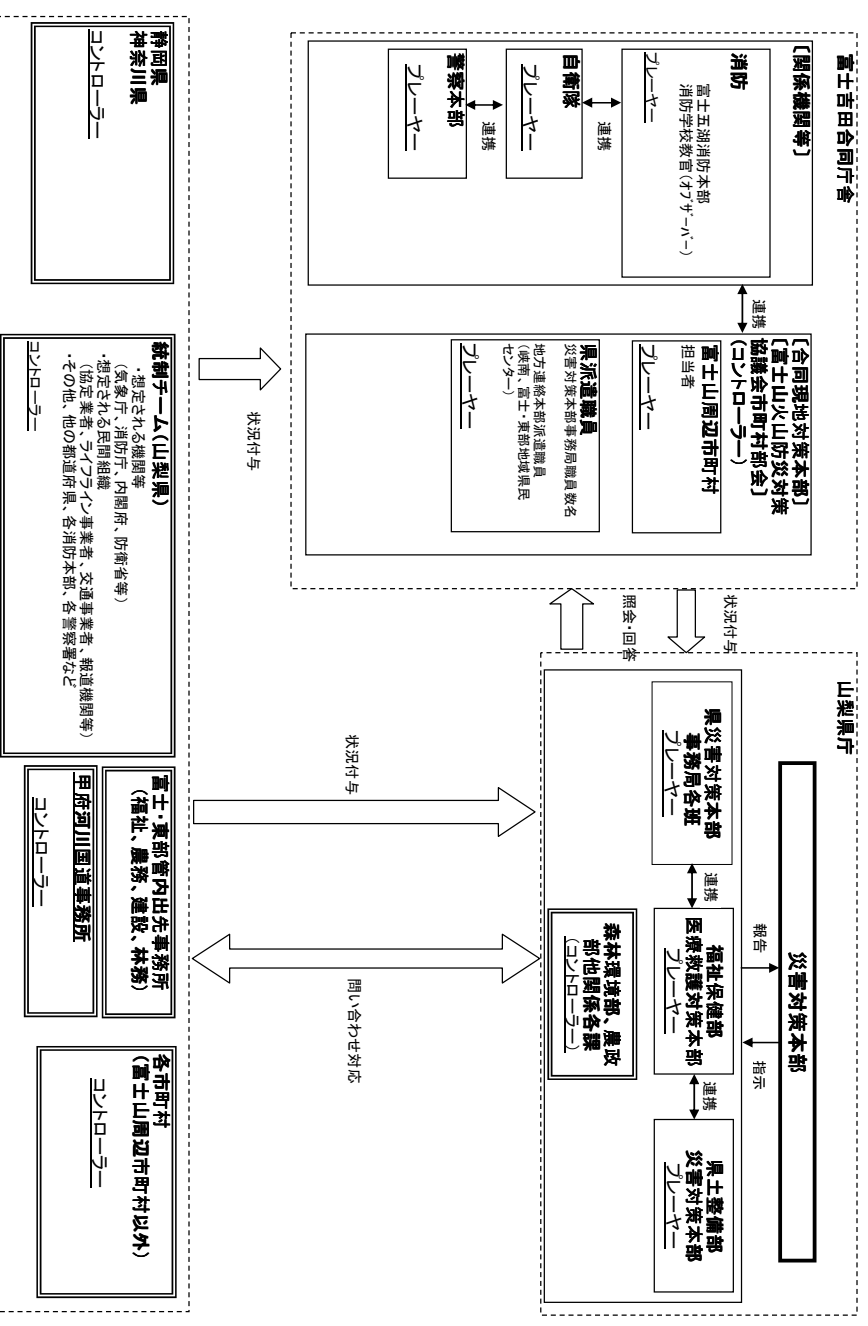
2. 場所 山梨県庁北別館(災害対策本部、事務局)
 防災危機管理課執務室(第一配備態勢)
 県庁舎各執務室及び関係出先機関
 富士吉田合同庁舎(合同現地对策本部等)



3. 内容 第1フェーズ:噴火警戒レベル3が発表された段階(第一配備態勢)
 第2フェーズ:噴火警戒レベル4及びレベル5が発表され、その後、噴火した段階
 (災害対策本部、合同現地災害対策本部)

4. 参加者 知事、副知事、各部部长等(災害対策本部署員)、災害対策本部署務局職員、
 医療救護対策本部職員、県土整備部災害対策本部署員、山梨県警察本部、
 富士山周辺市町村等、陸上自衛隊第1特科隊、消防本部、甲府河川国道事務所
 ...約200人

H24総合図上訓練概要フロー図



訓練時程表

想定上の月日	1月21日					
実行態の月日	1月21日					
10:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	16:00
訓練開始	噴火警戒レベル3	代表確認	噴火警戒レベル4	噴火警戒レベル5	噴火警戒レベル5(噴火) 災害対策本部員各課 15:30~	解散
<p>県第一救急班班長 (消防防災危機管理課職員) 富士山火山防災対策協議会市町村部会 (富士山周辺市町村職員)</p> <p>中區消防課、県土整備部災害対策本部職員 は執務室で待機 赤コンピュータは対応実施</p>		<p>噴火対策本部 (県庁北別館) (事務員職員、医療救護、県土整備部災害対策本部職員)</p>		<p>合同現地災害対策本部 (富士古田合同庁舎) (県庁庶務職員、富士山周辺市町村職員、警察、消防、自衛隊)</p>		
実施事項等						

